

大住逆転勝ち、初V



オーヤマ杯京都少年8人制サッカー

オーヤマハウジング D・Bカップ第10回京都少年(U-10)8人制サッカー大会は2日、長岡京市のアクアパルコ洛西で決勝を行い、京都南・大住サッカースポーツ少年団が2-1で西野サッカースポーツ少年団に逆転勝ちし、初優勝を果たした。3位決定戦は京都紫光SCが4-0で舞鶴少年SCに勝った。

1、2日に決勝トーナメント(試合は15分ハーフ)で激突した。大住と西野は3月15、16日に宝が池球技場で行われるJ.A全農杯チビリンピック小学生8人制大会の関西大会に出場する。

▽決勝トーナメント1回戦 紫光4-1梅美台、福知山0-0(PK3-2)ウエスト、長岡京SS1-0下鳥羽、大住2-0スイ

1ガ、西野2-0大山崎、菟道1-1(PK4-3)西陣中央、Rio4-2山田荘、舞鶴4-2CORE A
▽同2回戦 紫光2-0福知山、大住1-0長岡京SS、西野1-0菟道、舞鶴6-5Rio
▽同準決勝 大住3-1紫光、西野3-0舞鶴
▽同3位決定戦 紫光4-0舞鶴
▽同決勝 大住2(201)1西野

ドリブル、窮地打開

0-1の後半9分、大住の猛攻が実を結んだ。西野DF陣の裏に抜けたFW高垣虎士郎がドリブルから豪快にネットを揺らす。4分後、波状攻撃から再び高垣が左足で勝ち越し弾を決めた。「1点目は狙い通り。2点目は得意の形。よくシュートを外すから決められてめっちゃうれしい」

決勝点を決め、チームメイトと喜ぶ大住の高垣(11)



年からドリブル重視の指導に変えた。コーチ陣は大阪や兵庫の強豪で指導法を教わり、練習時間の半分をドリブルに充てた。神田代表は「どこまで勝ち進めるか楽しみにして

いたが、まさか優勝とは。子どもたちの潜在能力はすごい」と目を輝かせた。(国貞仁志)

関西大会へ、高垣は「自分たちはもっと力を発揮できる。僕は点をいっぱい取りたい」

終盤での鮮やかな逆転劇。

結団30周年の節目で初めて京都のタイトルを獲得した。山下輝人主将は「みんなしっか

大住―西野 激しくボールを奪い合う両チームの選手(2日、長岡京市アクアパルコ洛西)

長岡京市アクアパルコ洛西